

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。
<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>



お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日 年 月 日 製造番号 (NO.)

販売店 (TEL)

お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00~18:00)

0120-20-8822 ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

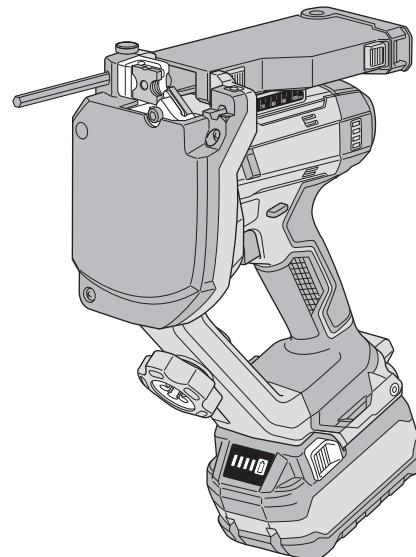
〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟18階)
電動工具ホームページ——<https://www.hikoki-powertools.jp>

HIKOKI

取扱説明書

コードレス全ねじカッタ 18 V CL 18DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。
This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

コードレス工具の安全上のご注意… 1

本製品の使用上のご注意… 5

リチウムイオン電池の使用上のご注意… 7

用途… 9

各部の名称… 9

仕様… 10

標準付属品… 11

別売部品… 12

ご使用前の準備… 13

基本機能について… 15

本製品の機能について… 18

切断する… 19

作業上のご注意… 21

カッタの取りはずし・取付け… 21

つり下げ、固定された全ねじの切断… 25

定置切断作業… 26

全ねじのバリ取りについて… 27

切断途中の全ねじのはずし方… 28

保守・点検… 29

故障診断… 32

ご修理のときは… 裏表紙

はじめに

使い方

その他

⚠️警告、⚠️注意、注の意味について

- ⚠️警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- ⚠️注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- 注：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、⚠️注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠️警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

③ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。

発熱・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。

⑤ 保護メガネを使用してください。

作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠️警告

⑥ 加工する物をしっかりと固定してください。

加工する物を固定するために、クランプや万力などを使用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⑦ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑧ 不意な始動は避けてください。

スイッチに指を掛け運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑨ 指定の付属品や別売部品を使用してください。

この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⑩ 蓄電池を火の中に投入しないでください。

破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠️注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が50°C以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

④ 無理して使用しないでください。

- ・安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上の使用は、事故の原因になります。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ・大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- ・付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。

- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- ・コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。

- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⚠注意

⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。

アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- ・スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の人は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- ・コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ・アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になる必要があります。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス全ねじカッタについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 使用中は、機体をしっかりと保持してください。
- ② スイッチを操作する際、カッタに指を近づけないでください。
- ③ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ④ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体やカッタ類などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑤ カッタの点検、掃除、交換の際は蓄電池をコードレス工具本体から取りはずしてください。
- ⑥ 機体を持ち運んだり、保管したり、作業を休止している際は、正逆切替ボタンをロックの位置にしておいてください。
ロックの位置にしておかないと、不意にスイッチが入り、けがの原因になります。
(P.16「正逆切替ボタンの使い方」参照)
- ⑦ 工具本体の端子部(蓄電池取付部)に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていることを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。短絡(ショート)して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑧ 工具本体の端子部(蓄電池取付部)に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡(ショート)して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 高所作業のときは、下に人がいないことを確認してください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ③ 機体で材料をたたく、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ④ LEDライトの光を目に当てないでください。
- ⑤ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑥ 蓄電池は確実に取付けてください。

⚠ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り(OFF)、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをする、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。

② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かけなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になります。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

！警告

- 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- 蓄電池に釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

！警告

- ⑨ 蓄電池にアルカリ系の潤滑剤や切削液が付着した場合は、速やかに乾いた布でふき取ってください。
ケースの破損や劣化の原因になります。

！注意

- 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- 蓄電池は子供の手が届かない所に保管してください。
- 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



リチウムイオン電池は
リサイクルへ

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

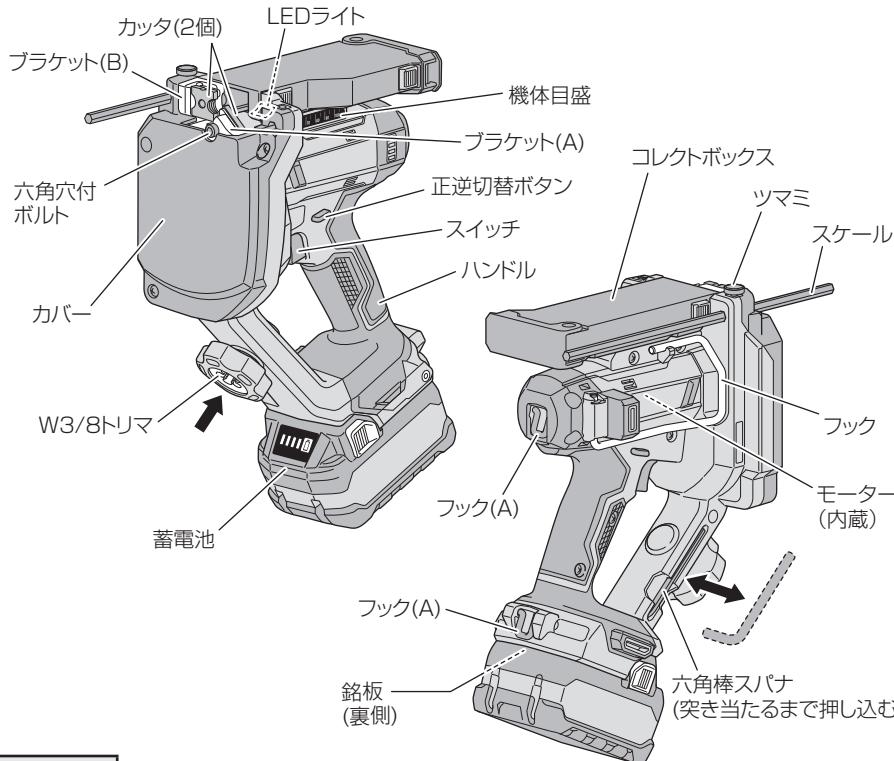
用 途

●全ねじの切断(下記サイズ)

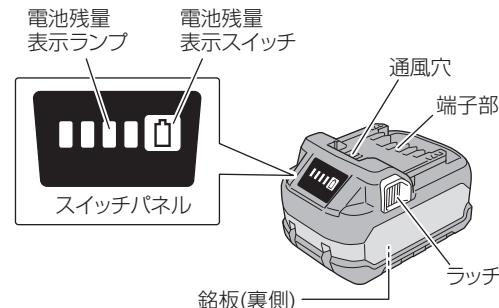
軟 鋼: W5/16、W3/8、W1/2、M6、M8、M10、M12
ステンレス: W3/8

各部の名称

工具本体



蓄電池



仕 様

1. 工具本体

形 名	CL 18DA
切 断 能 力*	軟鋼全ねじ: W5/16、W3/8、W1/2、M6、M8、M10、M12 ステンレス全ねじ: W3/8
無負荷ストローク数 [気温20℃満充電時]	28 min ⁻¹ {回 / 分}
モ 一 タ 一	直流ブラシレスモーター
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 壓	18 V
使 用 可 能 蓄 電 池	リチウムイオン電池 •マルチボルトタイプ蓄電池 •18 V (BSL 18**シリーズ)
工 具 本 体 尺 法 (全高×全長×全幅)	310×213×113 mm [BSL 36A18X 装着時]
質 量	3.2 kg [BSL 36A18X 装着時]

* 指定サイズの全ねじ以外の切断には使用できません。

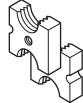
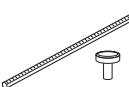
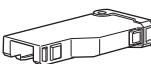
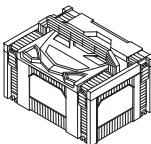
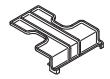
注 黄銅全ねじや仕様以外の全ねじを切断すると、ねじ山が変形し、ナットが入りません。また、焼き入れボルト、異なるサイズの全ねじ、鉄筋などを切断すると、機体を破損する場合がありますので、使用しないでください。

2. 蓄電池

形 名	BSL 36A18X
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 壓	36 V / 18 V (工具本体により自動切替)
容 量	2.5 Ah / 5.0 Ah (工具本体により自動切替)
冷 却	対応
使 用 可 能*	18 V 品: 使用可 36 V 品: マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使 用 可 能 充 電 器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36***、UC 18***シリーズ
残 量 表 示 ラン プ	緑色 LED

* ご使用できない製品があります。詳しくは、弊社ホームページまたは総合カタログで確認してください。

標準付属品

品名	仕様	XPZ	NN
蓄電池 BSL 36A18X		1個 〔本体装着〕	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。	1台	—	
W3/8 カッタ		1組 〔本体装着〕	1組 〔本体装着〕
W3/8 スペーサ		2個 〔本体装着〕	2個 〔本体装着〕
W1/2 カッタ		1組	1組
W3/8 トリマ		1個	1個
六角棒スパナ		1個 〔本体収納〕	1個 〔本体収納〕
スケール		1個	1個
コレクトボックス		1個	1個
システムケース (No.3)		1個	—
電池カバー		1個	—

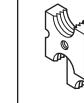
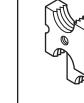
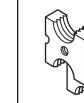
※ スペーサ (W3/8)(刻印:W3/8)は、W1/2、M12 以外のカッタ取付け時の厚み調整用です。

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

カッタ

W1/2、M12 以外のカッタを本体へ装着するときは、標準付属品のスペーサ W3/8(刻印: W3/8)も合わせて使用します。
(詳細は、P.24「**② カッタとスペーサを取付ける**」参照)

カッタ名	セット内容		カッタ名	セット内容	
	カッタ	スペーサ		カッタ	スペーサ
W1/2 カッタ		—	M12 カッタ組		M12 スペーサ (刻印: M12) 
W3/8 カッタ		—	M10 カッタ組		M10 スペーサ (刻印: M10) 
W5/16 カッタ組		W5/16 スペーサ (刻印: W5/16) 	M8 カッタ組		M8 スペーサ (刻印: M8) 
			M6 カッタ組		M6 スペーサ (刻印: M6) 

トリマ

全ねじを切断した後のバリ取り用に使用してください。

下記の 7 種類のサイズを用意しています。

W5/16、W3/8、W1/2、M6、M8、M10、M12



肩掛けストラップ

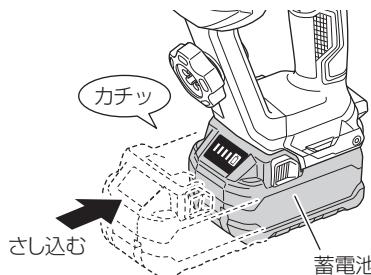


ご使用前の準備

●蓄電池の取付け・取りはずし

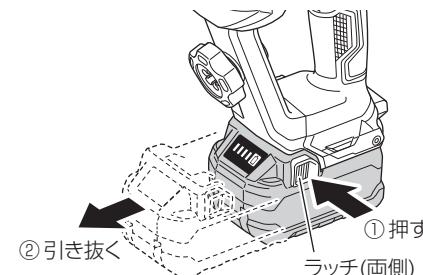
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

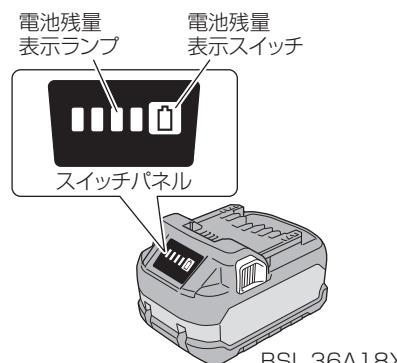
両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



●電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



注 残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。

●コレクトボックスについて

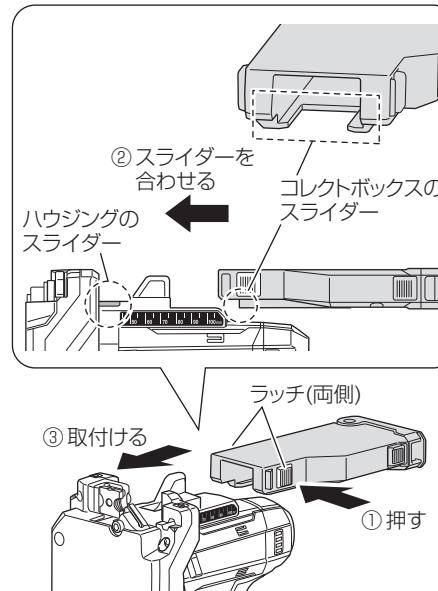
！注意

コレクトボックスを取付ける際、コレクトボックスやスライダー部に付着している切りくずを掃除して、確実に取付けてください。

コレクトボックスの取付けが確実でないと、けがの原因になります。

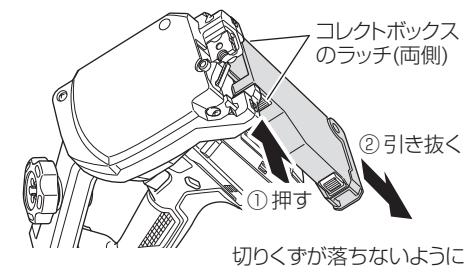
取付

ハウジングのスライダーにコレクトボックスのスライダーを合わせて取付けます。ラッチが「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。

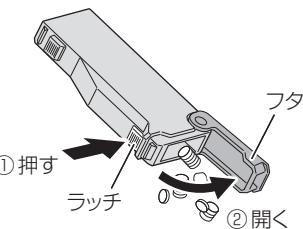


取りはずし

コレクトボックスのラッチ(2か所)を押しながら、切りくずが落ちないように引き抜きます。



下図のようにラッチを押し、フタを開いて切りくずを捨てます。



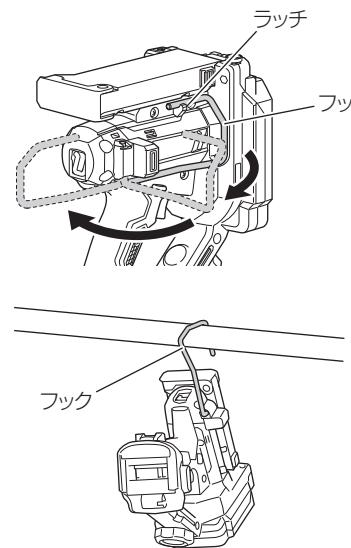
注 長い全ねじを切断する際は、コレクトボックスを取りはずす、または図のようにフタを開けて使用してください。

●フックの使い方

作業中に機体を一時的に置くとき、フックを利用されると便利です。
フックを矢印方向に開いて使用します。

警告

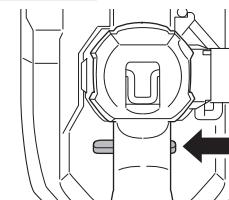
- このフックは人体へのつり下げ用ではありません。
- 高所では、フックを使用しないでください。
- フックを使用するとき、機体が風や振動などで滑り落ちないことを確認してください。
- フックが大きく曲がっている、ヒビが入っているなど異常があるときは使用しないでください。
お買い求めの販売店に相談してください。
- 通常使用されるとき、または保管するときは、フックを機体上部のラッチにとめて収納してください。



●正逆切替ボタンの使い方

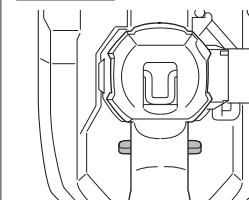
作業に応じて切断、ロック、開放の3位置にボタンを切り替えてください。

切断



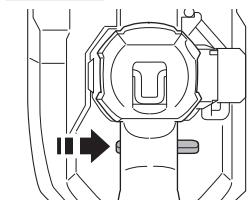
切断作業時に、ボタンを右から押し込みます。
スイッチを引くと、モーターが起動し、カッタが動きます。

ロック



運搬や保管、作業休止の際には、中央の位置にします。
スイッチを引いてもモーターは起動しません。

開放



切断作業時に、カッタが全ねじに食い込んでモーターが停止した場合、ボタンを左から押し込みます。
切断時とは逆方向にカッタが作動し、カッタを全ねじから取りはずすことができます。
取りはずした後はスイッチを切ってください。
(P.28「切断途中の全ねじのはずし方」参照)

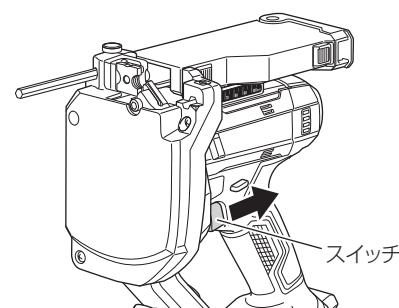
注 カッタが最大に開いた状態では、スイッチを引いてもモーターは起動しません。

基本機能について

●スイッチについて

スイッチは引くと入り、はなすと切れます。

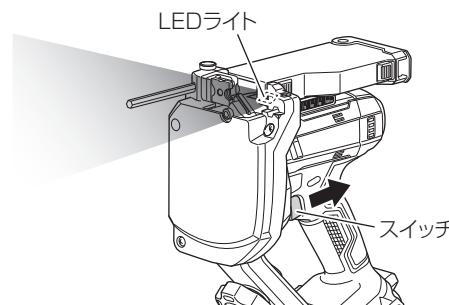
- 注**
- スイッチを引き続けると、自動的に最大に開いた状態で止まります（オートストップ機能）。
 - 途中でスイッチを切った場合、その位置でカッタが停止します。再度スイッチを引くと、カッタが停止した位置から動きます。



●LEDライトの使い方

スイッチを引くと点灯します。
LEDライトは、スイッチをはなして約10秒後に消灯します。

- 注**
- レンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、傷が付かないようにしてください。



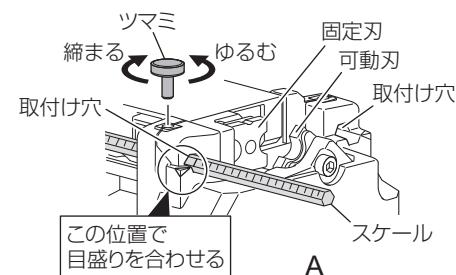
●スケール・機体目盛の使い方

作業に合わせて、スケールと機体目盛を使用してください。

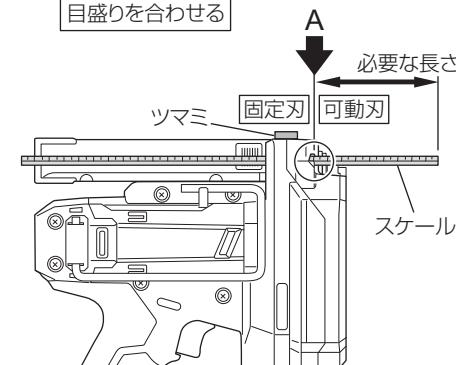
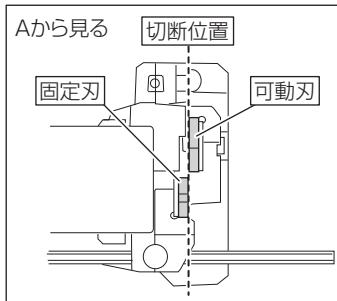
※目安として使用してください。計測器として長さを保証するものではありません。

スケールを使用する場合

1 ツマミを回してゆるめ、取付け穴にスケールをさし込みます。

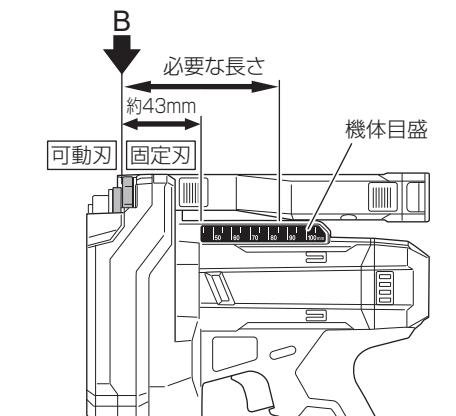
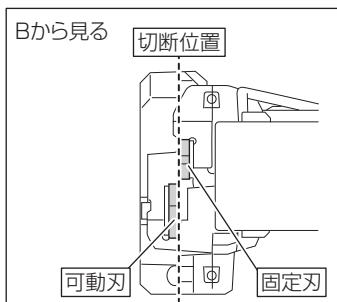


2 必要な長さに位置を調整し、ツマミを回して締め、しっかりと固定します。



機体目盛を使用する場合

全ねじの先端を、切断したい長さの目盛りに合わせる。



●肩掛けストラップ【別売部品】の使い方

！注意

- ・適切な長さで使用してください。
- ・損傷している場合は、使用しないでください。

肩掛けストラップを取付けると、右図のよう機体を持ち運ぶことができます。



●1充電当たりの作業量について

切断本数は、カッタの状態、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。

[蓄電池 BSL 36A18X 使用時]

	W5/16	W3/8	W1/2	M6	M8	M10	M12
軟鋼 (SS400)	約2,100本	約1,400本	約400本	約3,150本	約1,850本	約1,150本	約770本
ステンレス (SUS304)	—	約750本	—	—	—	—	—

本製品の機能について

本製品は下記のような機能があります。

機能	内 容
オートストップ機能	全ねじを切断後、スイッチを引き続けると自動的に最大に開いた状態で止まります。 ※逆転の場合もスイッチを引き続けると、自動的に最大に開いた状態で止まります。 逆転の場合、最大に開いた状態でスイッチを引いても機体は作動しません。
保護機能	刃と合わないサイズの全ねじや鉄筋など、切断能力を超える部材を切断した場合や、連続作業を行い機体が過熱した場合は、保護機能が働き切断できません。 ※保護機能により機体が停止した場合、LEDが点滅します。 保護機能で停止した場合、「開放」の方向にしか作動しません。

切断する

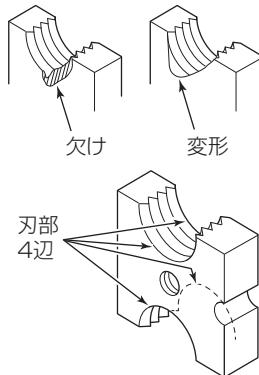
下記サイズの全ねじを切斷します

- ・軟 鋼: W5/16、W3/8、W1/2、M6、M8、M10、M12
- ・ステンレス: W3/8

この作業時は必ずスイッチを切り(OFF)、蓄電池を取りはずしてください。

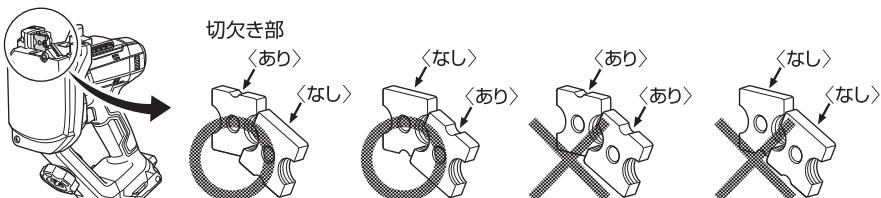
1 カッタ刃部を確認する

- 右図のように、刃部に〈欠け〉や〈変形〉を生じたカッタをそのまま使用すると、全ねじの切斷部にバリを生じたり、ねじ山が変形してきれいに切斷できなくなり、ナットが入らなくなります。
- 刃部に欠けや変形がある場合は、上下2個のカッタの取付け向きを変えて新しい刃部を使用するか、または新しいカッタに交換してください。
(P.21「カッタの取りはずし・取付け」参照)



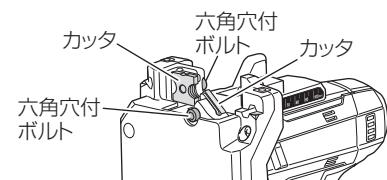
2 カッタ取付け向きを確認する

カッタの取付け向きにはねじ山の方向性があるため、機体正面から見て、2個のカッタの側面切れき溝が下図に示す〈あり〉と〈なし〉の正しい組み合わせ(2通り)になっているか確認してください。



注 2個のカッタを取付けている2本の六角穴付ボルトがしっかりと締付けられているか、六角棒スパナを使用し確認してください。

ボルトがゆるんだ状態で使用すると、機体やカッタの破損を招くことがあります。



! 警告

- スイッチ操作時は、カッタに指を近づけないでください。
- 短い全ねじを切斷するなどの作業では、機体と全ねじのすき間に指を挟まないようにしてください。

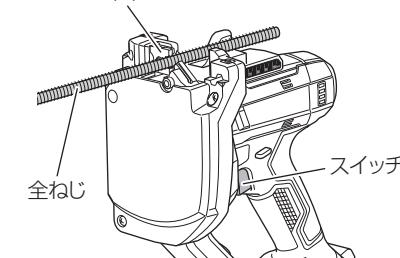
5

全ねじをセットしてスイッチを入れる

切斷する全ねじをブラケット(B)側のカッタに、ねじ山が正しくかみ合うようにセットします。

スイッチをいっぱいに引いて、全ねじを切斷します。

ブラケット(B)側のカッタ



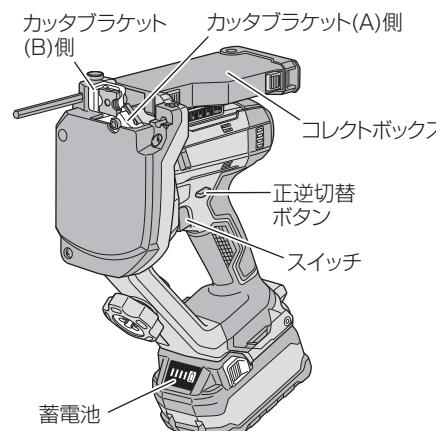
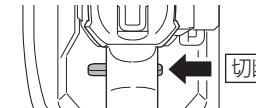
3 蓄電池を取り付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



4 正逆切替ボタンを切斷にセットする

ボタンを右から押し込み、切斷の位置にします。
(P.16「正逆切替ボタンの使い方」参照)



※長い全ねじを切斷する際は、コレクトボックスを取りはずす。

6

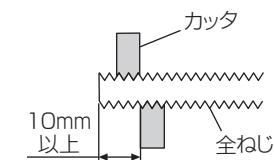
スイッチを切る

全ねじ切斷後、スイッチを引いたままにすると、カッタが開いた状態で自動停止します。

自動停止後にスイッチを切ります。

注

- 全ねじを 10 mm 以下の長さに切斷すると、全ねじとカッタのかみ合い長さが短くなり、カッタの損傷につながります。10 mm 以上の長さで切斷してください。



・スイッチを引き続けると、自動的に最大に開いた状態で止まります(オートストップ機能)。

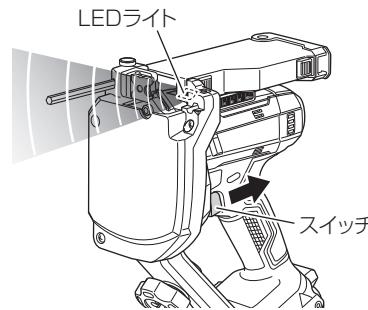
・途中でスイッチを切った場合、その位置でカッタが停止します。

作業上のご注意

●連続作業について

連続して作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は本機を十分に冷ましてください。温度が下がれば再び使用することができます。

連続して作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてから使用してください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。なお、温度保護回路が作動しているときにスイッチを入れると、LEDライトが点滅します。



カッタの取りはずし・取付け

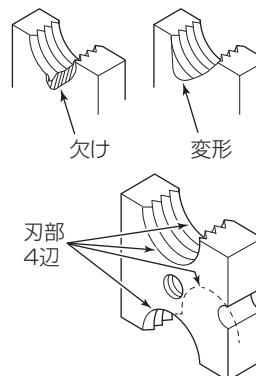
●カッタの寿命

カッタは全ねじの切断の繰り返しにより図に示すように、刃に〈欠け〉や〈変形〉を生じてきます。

そのまま使用を続けると、全ねじの切断部にバリが生じたり、ねじ山が変形したりしてきれいに切断できず、ナットが入らなくなります。

カッタには右図に示すように、刃部が4辺ついていますので、P.23「カッタの取付け」に示す方法でカッタの取付け向きを変えることにより、4回使用できます。

刃部の欠けや変形によってナットが全ねじに入らない場合は、欠けや変形のない刃部を使用するようカッタの取付け向きを変えるか、または新しいカッタと交換してください。

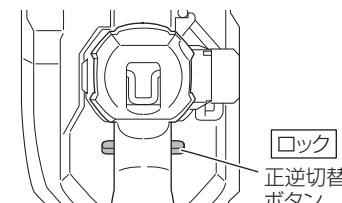


●カッタの取りはずし

1

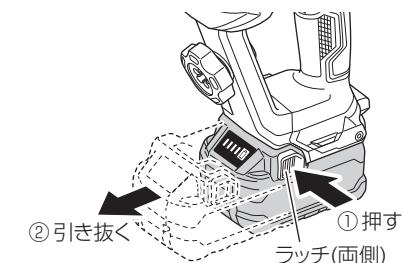
正逆切替ボタンをロックの位置にする

P.16「正逆切替ボタンの使い方」参照



2

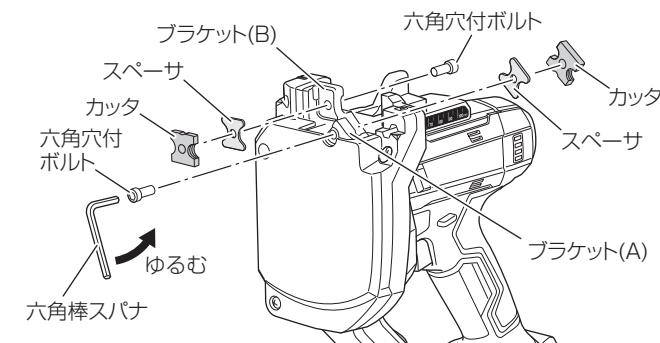
蓄電池を取りはずす



3

カッタを取りはずす

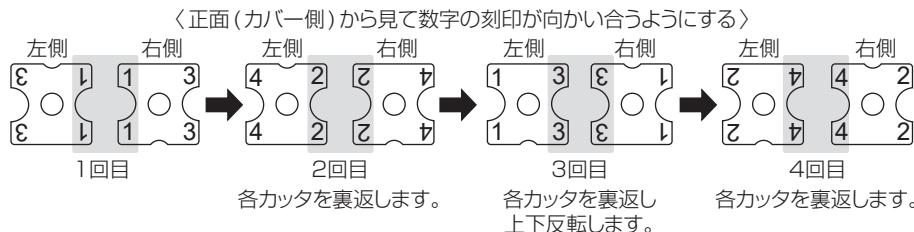
- 付属の六角棒スパナで六角穴付ボルト(2本)をゆるめて、2個のカッタを取りはずします。
- スペーサがある場合は、スペーサも取り出してください。



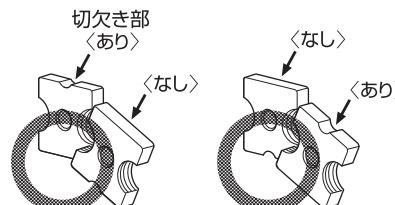
●カッタの取付け

1 カッタを準備する

- ・カッタを2個用意して、刃部の欠けや変形を確認し、カッタの取付面にふくらみがある場合には、ヤスリなどで平らに仕上げてください。
- ・刃部の取付け向きを変えれば、1個のカッタを4回使用できます。

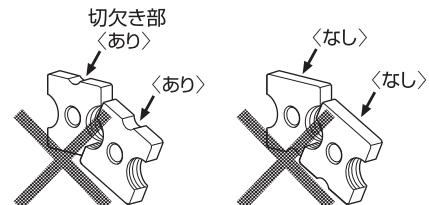


- ・刃部の位置を変える際は、カッタ同士の位置関係があります。機体の正面から見て、図のようにカッタ側面の切欠き溝を〈あり〉と〈なし〉の関係にします。



- ・ブラケット(A)(B)のカッタ取付け溝内に付着した切りくずは、ブラシなどで取り除いてください。

注 •切欠き溝が〈あり〉と〈あり〉、〈なし〉と〈なし〉の間違った組み合わせでは、全ねじの山(ピッチ)にカッタのピッチが一致しないため、カッタの刃部が破損したり、機体の早期故障につながります。



- ・数字の刻印が無いカッタを使用する場合、切欠き溝を目印にしてカッタの取付け向きを変えてください。

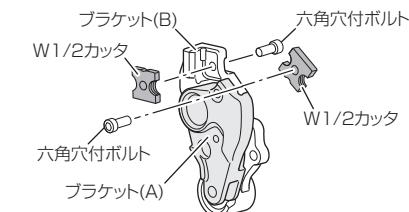
向きの変え方は上記と同じです。

2

カッタとスペーサを取付ける

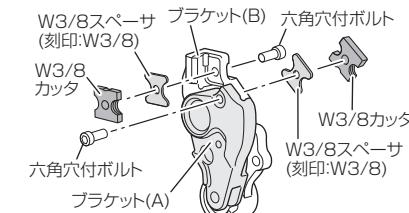
W1/2 カッタの場合【標準付属】

カッタをブラケット(A)、(B)のカッタ取付け溝に入れ、六角棒スパナで六角穴付ボルトを十分に締めて、2個のカッタを確実に固定します。
(標準付属のスペーサW3/8(刻印:W3/8)は使用しません。)



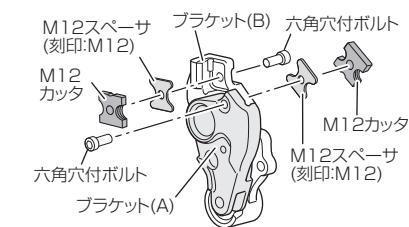
W3/8 カッタの場合【標準付属】

付属の厚み調整用のスペーサW3/8(刻印:W3/8)をブラケット(A)とカッタの間、ブラケット(B)とカッタの間に正しく挟み込み、六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。



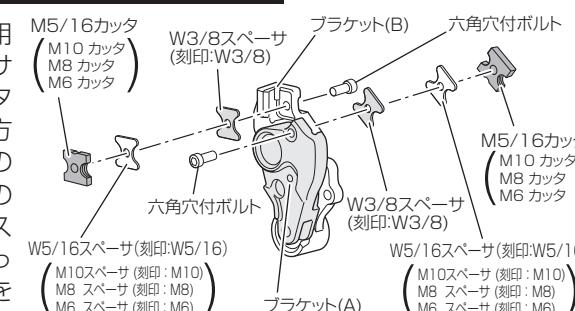
M12 カッタの場合【別売部品】

M12カッタにセットの専用のM12スペーサ(刻印:M12)をブラケット(A)とカッタの間、ブラケット(B)とカッタの間に正しく挟み込み、六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。
(標準付属のスペーサW3/8(刻印:W3/8)は使用しません。)



W5/16、M10、M8、M6 カッタの場合【別売部品】

例えば、W5/16カッタを使用の場合、標準付属のスペーサW3/8(刻印:W3/8)とカッタに同梱の専用スペーサの両方をブラケット(A)とカッタの間、ブラケット(B)とカッタの間に正しく挟み込み、六角棒スパナで六角穴付ボルトをしっかりと締めて、2個のカッタを固定します。



注 •W5/16、M6、M8、M10、M12の各カッタとスペーサは、サイズごとにセットです。スペーサW3/8(刻印:W3/8)は共通です。

- ・カッタに同梱の専用スペーサやスペーサW3/8(刻印:W3/8)を付けずに使用したり、異なるサイズのスペーサやカッタを付けて使用すると、ねじ山が正しくかみ合はず、全ねじやカッタの刃部を破損しますので、正しく取付けてください。
- ・スペーサ(A)(刻印:A)をお持ちの場合は、W3/8(刻印:W3/8)スペーサと同形状のため同じ用途で使用できます。

つり下げ、固定された全ねじの切断

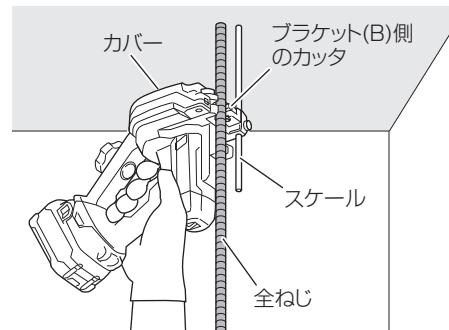
天井からつり下げたり、壁や床に固定された全ねじを切断する場合、全ねじをカッタにセットする際に、ねじ山のかみ合わせが不安定になりますので、次のように使用してください。

△注意

- つり下がりの全ねじを切断するときは、落下防止のため、切り落とし側の全ねじを保持してください。
- コレクトボックスを装着している場合、本動作は不要です。
- 切断された全ねじの落下に注意をしてください。

1 ねじ山をかみ合わせる

プラケット(B)側のカッタに、全ねじのねじ山を正しくかみ合うようにセットします。



2 全ねじを切断する

スイッチを完全に引いて、全ねじを切断します。

注 • 狹い箇所に固定された全ねじを切断するときは、全ねじと周辺部材に 12 mm 以上の間隔が必要です。

12 mm 以下では、カッタが周辺部材に当たり、カッタや機体を損傷します。

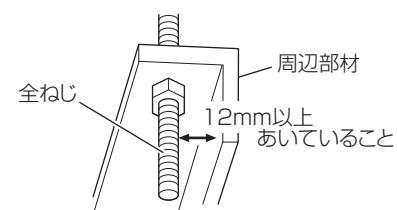
• スケールの先端を、天井に強く当てないでください。

天井の傷、スケールの変形・破損の原因になります。

• カバーの汚れは、乾いた布でふいてください。

カバーの汚れが天井に付く恐れがあります。

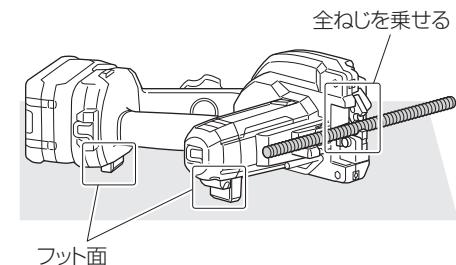
• スケールを使用しないときは、取りはずしてください。



定置切断作業

本製品のフット面が、床に接するように設置します。

全ねじを図のように設置して切斷します。



全ねじのバリ取りについて

カッタの取付け方によって、切断後の全ねじ切り口のバリ量に違いがあります。

正面(カバー側)から見て切欠きが左側になるように取付けた場合、切り口のバリ量は右図のようになります。

また、カッタを表.1の通り取付けると、右図状態で長期間の切断作業が可能となります。

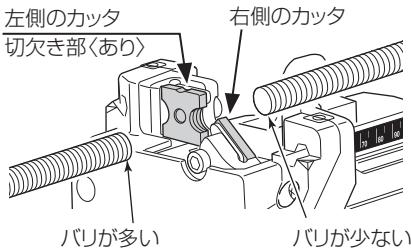


表.1

1回目		2回目		3回目		4回目	
左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側
カッタ①	カッタ②	カッタ①	カッタ②	カッタ②	カッタ①	カッタ②	カッタ①

各カッタを裏返します。

左右のカッタを入れ替えて上下方向に裏返します。

各カッタを裏返します。

正面(カバー側)から見て切欠きが右側になるように取付けた場合、切り口のバリ量は右図のようになります。

また、カッタを表.2の通り取付けると、右図状態で長期間の切断作業が可能となります。

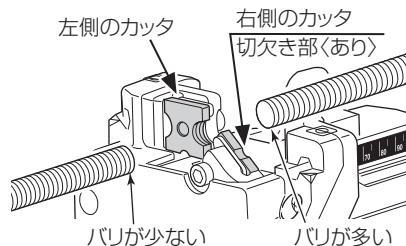


表.2

1回目		2回目		3回目		4回目	
左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側
カッタ①	カッタ②	カッタ①	カッタ②	カッタ②	カッタ①	カッタ②	カッタ①

各カッタを裏返します。

左右のカッタを入れ替えて上下方向に裏返します。

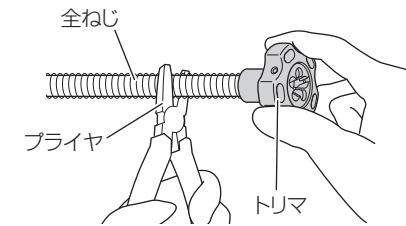
各カッタを裏返します。

注 数字の刻印が無いカッタを使用する場合、切欠き溝を目印にしてカッタの取付け向きを変えてください。

向きの変え方は上記と同じです。

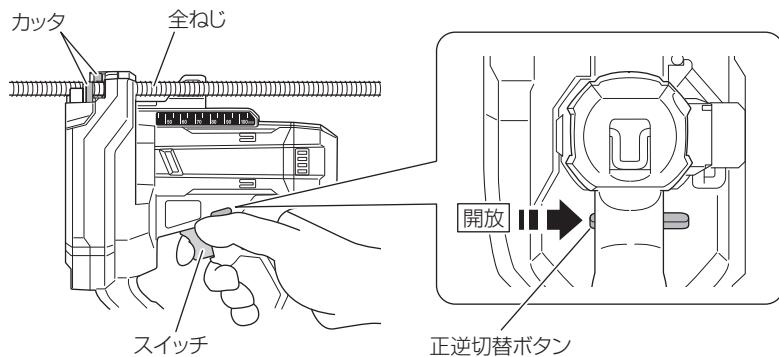
切断後、バリでナットが入りにくい場合には、切り口のバリをニッパ・ヤスリ、市販のアジャスタブルねじ切りダイスなどを使って取ってください。

また、プライヤで固定しトリマで取ってください。



切断途中の全ねじのはずし方

電池残量が少なくなり全ねじ切断途中でモーターの回転が停止する、または切断途中で全ねじが噛みこんで停止した場合、正逆切替ボタンを開放側へ(下図参照)押し、スイッチを引いてモーターを逆回転させて、カッタから全ねじをはずしてください。



- 注**
- 電池残量が少なくなり全ねじ切断途中でモーターの回転が停止する、または切断途中で全ねじが噛みこんで停止した場合にのみ開放の位置にしてください。
 - カッタを全ねじからはずして、スイッチを入れたままにすると、カッタが最大に開いた状態で自動停止します。
 - 開放の位置で全ねじを切断しようとしてもモーターが過負荷になり、切断できません。また、機体に無理な力が作用し、破損する場合がありますので、開放の位置では切断しないでください。

保守・点検

● カッタの点検とお手入れ



刃部に欠けや変形が生じたまま使用すると、全ねじの切断部にバリを生じたり、ねじ山が変形して、ナットが入らなくなります。

早めにカッタの取付け向きを変えるか、新品と交換してください。

使用後は、特にカッタの刃部周辺をブラシなどで掃除してください。

● 機体の点検



各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 端子部の点検



工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● 清掃する



機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.9「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的にモーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50°C未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- ・お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- ・軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- ・温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- ・引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。



●リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

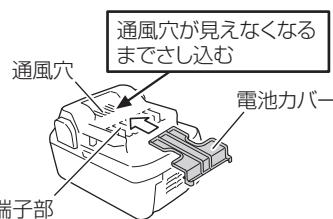
リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

注 リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。

蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3か月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。

充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。



状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチッとなるまで蓄電池をさし込んでください。
突然止まった	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	過負荷になった	大きな負荷を与えた原因を解消してください。
	蓄電池または工具本体が過熱状態になった	蓄電池および工具本体を十分冷ましてください。
	温度保護回路が作動した	機体を十分に冷ましてください。
スイッチが引けない	正逆切替ボタンが「ロック」の位置になっている	「切断」または「開放」の位置にしてください。

メモ

メモ